

2021年2月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年10月12日

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
 コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役業務本部長 (氏名) 三浦 修一
 四半期報告書提出予定日 2020年10月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 079-223-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第2四半期の連結業績(2020年3月1日～2020年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	7,002	29.9	67		30	85.7	107	
2020年2月期第2四半期	9,987	2.5	173	17.3	210	16.1	146	22.6

(注) 包括利益 2021年2月期第2四半期 91百万円 (%) 2020年2月期第2四半期 140百万円 (20.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第2四半期	134.11	
2020年2月期第2四半期	182.35	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	12,259	2,273	18.5
2020年2月期	12,865	2,365	18.4

(参考) 自己資本 2021年2月期第2四半期 2,273百万円 2020年2月期 2,365百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期				0.00	0.00
2021年2月期					
2021年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,092	20.8	38		111	71.1	16		20.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	810,000 株	2020年2月期	810,000 株
期末自己株式数	2021年2月期2Q	7,871 株	2020年2月期	7,705 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	802,220 株	2020年2月期2Q	802,311 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年8月31日)における国内経済は、全世界に拡大する新型コロナウイルス感染症の影響により、全国的に外出制限や営業・生産活動の停止措置が行われたことで経済活動が抑制されるなど、景気は極めて厳しい深刻な状況で推移いたしました。

百貨店業界におきましては、2019年10月の消費税増税による消費の急激な落ち込みに加え、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、政府から発出された緊急事態宣言による外出・営業自粛要請を踏まえ、臨時休業や営業時間の短縮、集客催事イベント中止などにより、来店客数が大幅に減少いたしました。緊急事態宣言解除後においても、7月は悪天候が続いたほか、国内において、第2波、第3波への懸念が広がるなど、消費マインドの回復が見通せない状況が続きました。さらに、大都市圏の店舗においては、業績を下支えしていたインバウンド購買が、海外からの渡航者の入国制限により、過去に類を見ない減少率を記録するなど、全国的に前年実績を大幅に下回る厳しい結果となりました。

このような状況の中、当社グループは、2020年度からの新中期経営計画の基本方針である「外販力増強による顧客獲得策の推進」、「店舗魅力向上のための商品・催事開拓」、「顧客満足度の向上策の実行と徹底強化」に基づき、従業員全員で各種施策に取り組み、地域のお客さまから支持される店づくりを推進してまいりました。

営業面では、食料品売場に、店内の専用厨房で季節感あふれる出来立て惣菜を提供する老舗精肉店柿安本店の惣菜専門店「柿安ダイニング」や、安心・安全の旬の素材を使用したジャムやドレッシングなどの食品ギフト専門店「セゾンファクトリー」を新たに導入するなど、店舗の魅力向上に注力してまいりました。催し会場につきましては、姫路初開催となった「十五代 酒井田柿右衛門展」や銀座日動画廊が厳選した若手作家から国内外の有名物故巨匠の作品を取りそろえた「日動画廊洋画名品展」などの大型美術催事、また、例年好評を博している「優貴展」や「黄金展」などの宝飾催事の開催により、集客並びに売上の確保に努めました。しかしながら、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受けて、当社は、2020年4月8日から2020年5月15日の期間、地階食料品売場を除く全ての売場を臨時休業したほか、「北海道物産展」をはじめとする人気食品催事を中止するなど、かつてない厳しい商況となりました。営業再開後は、新しい生活様式に対応した安全な店内環境・販売体制を構築し、お客さまに安心してご来店いただける体制づくりに注力しました。

経費面におきましては、臨時休業等に伴う大幅な売上の減少を受けて、全ての経費項目の抜本的な見直しを行いました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、7,002百万円(前年同期比29.9%減)と大幅な減収を余儀なくされ、それに伴い、営業損失67百万円(前年同期営業利益173百万円)、経常利益30百万円(前年同期比85.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失107百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純利益146百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ605百万円減少し、12,259百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の増加60百万円等に対し、現金及び預金の減少450百万円、有形固定資産の減少108百万円等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ513百万円減少し、9,986百万円となりました。これは主に、返済による借入金の減少422百万円等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ91百万円減少し、2,273百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失による利益剰余金の減少107百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ450百万円減少し、848百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は10百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純損失88百万円、減価償却費140百万円等によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ283百万円収入減となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は38百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出34百万円等によるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ23百万円支出減となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は422百万円となりました。これは主として、借入金の返済422百万円等の支払があったことによるものであり、前年同四半期連結累計期間に比べ119百万円支出減となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により業績に与える影響を合理的に算定することが困難であることから未定としておりましたが、本日公表の「業績予想に関するお知らせ」において、2021年2月期の通期連結業績予想を公表いたしましたのでご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,299,698	848,872
受取手形及び売掛金	716,250	777,209
有価証券	701,026	700,068
商品	1,068,453	1,020,917
貯蔵品	8,958	9,939
その他	186,227	160,828
貸倒引当金	△590	△640
流動資産合計	3,980,024	3,517,196
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,175,013	3,089,285
土地	4,742,826	4,742,826
その他(純額)	161,607	139,328
有形固定資産合計	8,079,446	7,971,440
無形固定資産	127,428	126,123
投資その他の資産		
投資有価証券	128,577	115,466
繰延税金資産	76,102	56,788
差入保証金	423,240	425,290
その他	65,723	62,363
貸倒引当金	△14,886	△14,781
投資その他の資産合計	678,756	645,126
固定資産合計	8,885,632	8,742,689
資産合計	12,865,656	12,259,886
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,819,428	1,777,770
短期借入金	1,620,000	1,510,000
未払法人税等	79,020	14,388
前受金	2,462,349	2,538,256
商品券	1,114,805	1,174,868
賞与引当金	18,524	10,251
役員賞与引当金	4,320	—
商品券回収損引当金	225,500	238,600
その他	540,818	441,538
流動負債合計	7,884,766	7,705,674
固定負債		
長期借入金	2,222,500	1,910,000
退職給付に係る負債	329,593	309,978
その他	63,661	60,907
固定負債合計	2,615,754	2,280,885
負債合計	10,500,521	9,986,559

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	2,015,863	1,908,279
自己株式	△16,447	△16,745
株主資本合計	2,411,971	2,304,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,539	19,441
退職給付に係る調整累計額	△56,376	△50,203
その他の包括利益累計額合計	△46,836	△30,762
純資産合計	2,365,134	2,273,326
負債純資産合計	12,865,656	12,259,886

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
売上高	9,987,307	7,002,790
売上原価	7,875,832	5,535,586
売上総利益	2,111,475	1,467,204
販売費及び一般管理費	1,937,567	1,534,279
営業利益又は営業損失(△)	173,907	△67,075
営業外収益		
受取利息	202	199
受取配当金	3,575	3,813
受取家賃	1,248	1,269
債務勘定整理益	62,162	64,865
雇用調整助成金	—	40,065
その他	25,687	35,587
営業外収益合計	92,875	145,802
営業外費用		
支払利息	6,656	4,855
商品券回収損引当金繰入額	48,656	43,526
その他	965	192
営業外費用合計	56,277	48,575
経常利益	210,505	30,151
特別利益		
雇用調整助成金	—	29,168
特別利益合計	—	29,168
特別損失		
固定資産除却損	3,933	3,054
投資有価証券評価損	—	33,494
臨時休業等損失	—	111,036
特別損失合計	3,933	147,585
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	206,572	△88,264
法人税等	60,274	19,319
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146,298	△107,584
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	146,298	△107,584

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	146,298	△107,584
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,911	9,901
退職給付に係る調整額	4,260	6,172
その他の包括利益合計	△5,650	16,073
四半期包括利益	140,647	△91,510
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	140,647	△91,510
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	206,572	△88,264
減価償却費	139,246	140,439
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,015	△54
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,289	△8,273
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,771	△13,443
商品券回収損引当金の増減額(△は減少)	2,300	13,100
受取利息及び受取配当金	△3,778	△4,013
支払利息	6,656	4,855
雇用調整助成金	—	△69,234
投資有価証券評価損益(△は益)	—	33,494
売上債権の増減額(△は増加)	△198,335	△60,959
たな卸資産の増減額(△は増加)	△74,523	46,554
差入保証金の増減額(△は増加)	90	△2,050
仕入債務の増減額(△は減少)	269,942	△41,657
前受金の増減額(△は減少)	19,700	75,906
未払金の増減額(△は減少)	△10,729	△116,572
未払消費税等の増減額(△は減少)	△35,460	△26,134
その他	67,320	130,495
小計	391,048	14,190
利息及び配当金の受取額	3,934	4,171
利息の支払額	△6,294	△5,103
助成金の受取額	—	63,439
法人税等の支払額	△94,643	△65,985
営業活動によるキャッシュ・フロー	294,045	10,712
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△57,874	△34,236
無形固定資産の取得による支出	△768	△763
投資有価証券の取得による支出	△3,567	△3,740
投資活動によるキャッシュ・フロー	△62,210	△38,739
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△542,500	△422,500
自己株式の取得による支出	△27	△297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△542,527	△422,797
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△310,692	△450,825
現金及び現金同等物の期首残高	2,355,649	1,299,698
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,044,956	848,872

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、政府の緊急事態宣言や県の休業要請を踏まえ、お客さま並びに従業員の安全確保、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、食料品売場を除き店舗の臨時休業をいたしておりました。

緊急事態宣言が全国的に解除された後も、外出自粛等の影響は当面継続するものと思われませんが、当該感染症の影響がすくなくとも当連結会計年度末まで続くものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。